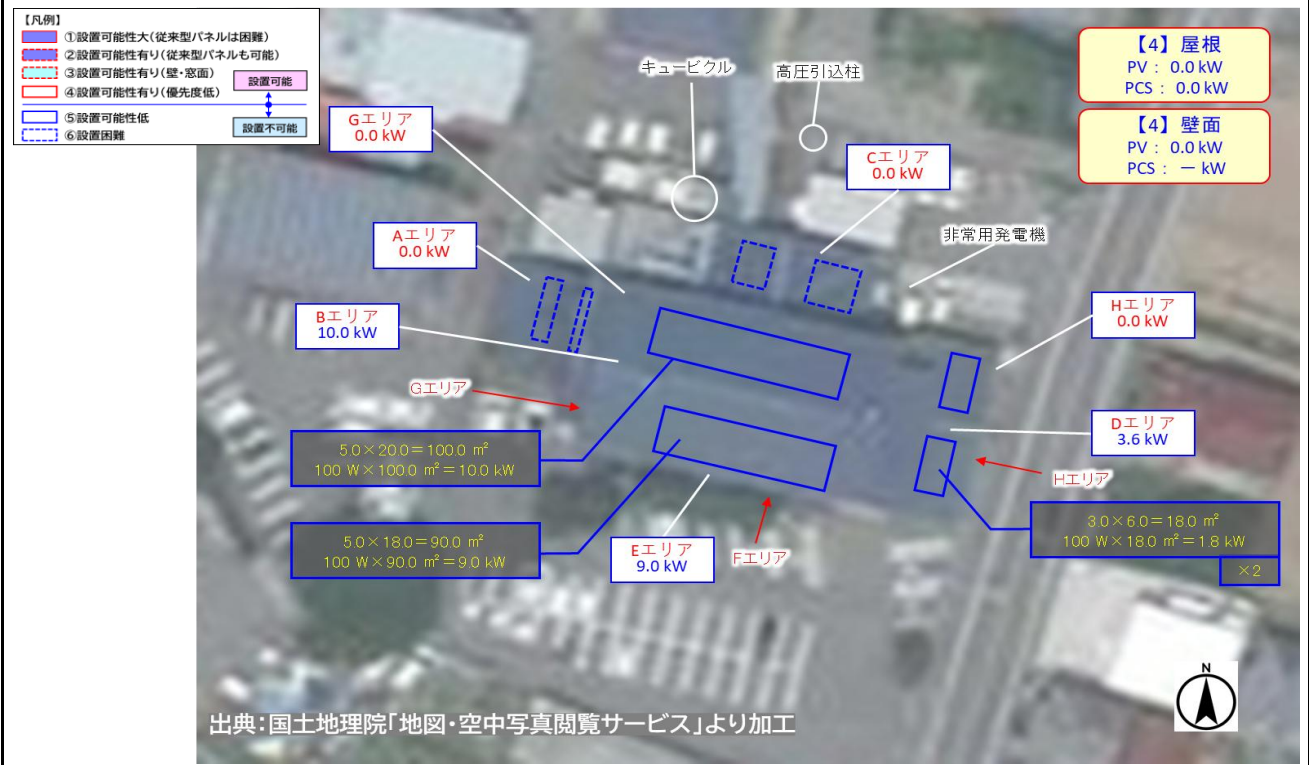


4 大玉村役場

|      |       |      |                 |
|------|-------|------|-----------------|
| 調査番号 | 4     | 自治体  | 大玉村             |
| エリア  | 県北    | 施設名  | 大玉村役場           |
| 屋根形状 | 傾斜屋根  | 所在地  | 福島県安達郡大玉村玉井星内70 |
| 竣工年  | 1961年 | 建物構造 | 鉄骨造             |

| ペロブスカイト太陽電池の設置候補場所 |        |     |    |
|--------------------|--------|-----|----|
| 種別                 | 容量[kW] | 可能性 | 備考 |
| 屋根                 | -      |     |    |
| 壁面・窓面              | -      |     |    |
|                    |        |     |    |



現地写真(外観等)



| 設置に可能性に関する説明・所見  |
|--|
| 本施設は村役所庁舎であり、営業時間帯(日中)に十分な電力需要が見込める。しかしながら、ペロブスカイト太陽電池の場合、軽量であるとはいえ設置可能とするためのエビデンスが得られない。よってパネルの設置は推奨できない。   |
| <所見> <ul style="list-style-type: none"><li>・昭和37年に建築された建物であり、既に64年が経過している。</li><li>・構造計算書には鉄骨鉄筋コンクリート(SRC)造とされているが、鉄骨造のように見える。但し、煙突は鉄筋コンクリート(RC)造である。</li><li>・平成24年の改修時に、長辺方向のみ1階と2階の各々6カ所ブレースで補強をしている模様。但し、既存柱や梁との接合部ディテールは不明である。</li><li>・壁面の面積が少なく、窓面は、引き違い窓であり、面積が少ないため、設置エリアが確保できない。</li><li>・電力需要は比較的多いため、構造問題が無ければ20～30kW程度のパネル設置が期待できる。</li></ul> |

【パネル配置および容量検討に関する注記】

1. 発電規模(容量)の明示について
- ・現時点では、一般的に調達が可能で標準となるモジュールが存在しないため、机上でモジュールを配置したエリア面積により算出する。屋根面と壁面では100W/㎡を見込み、窓面では50W/㎡を見込む。ただし、デッドスペースが明確にできる場合は個別に発電規模(容量)を想定する。
2. 日照条件が劣るエリアとして、以下を区別する。
- ・日照条件が劣るエリア: 春秋分日において、9時～15時の間に概ね1時間以上影響を受けるエリア
  - ・日照条件が極端に劣るエリア: 春秋分日において、9時～15時の間に概ね3時間以上影響を受けるエリア
3. ペロブスカイト太陽電池モジュールの設置方式について
- ・現時点で、屋根葺き材や壁面仕上げ材の形状に合わせた標準的な設置方法は存在しない。また、モジュールの標準寸法も定まっていない。
- 従って、配置図にはデッドスペースが含まれる。具体的な設置方法が明確にできる場合は個別に明示する。

